

## 「ろうわバナナに奇跡が…!」

寒い冬から、ようやく春の訪れをほのかに感じられる季節となりました。ここ聾話学校にも、数週間前までは雪の降る時期がありました。2月26日現在、本校のバナナの葉や茎はすっかり枯れてしまい、茶色く、乾燥した姿になっていました。



←暖房設備は無いので、藁を巻いたり敷いたりして冬仕様の姿になっています。  
シイタケの原木も寄りかかっています。

ところが上をよく見ると…。



“実”が出てきているではありませんか!! 発見した生徒も教員も、まさかの状況に驚きました。

3月1日、本校では高等部の卒業式が執り行われました。この開花は、これまで仲間と活動に取り組んできた3年生へ、ろうわバナナからのお祝いのメッセージのように思えました。3年生と過ごす残り最後の数日間でしたが、生徒たちにとっては、その最後の最後まで、思い出に残る特別な経験になったことと思います。